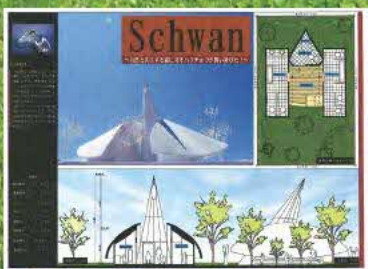
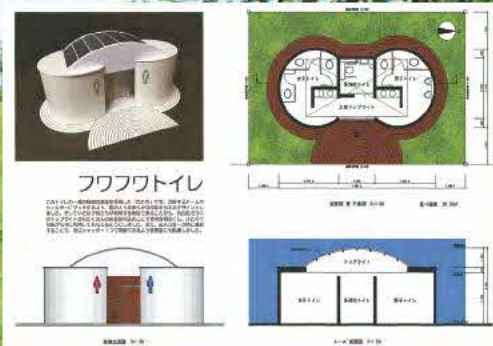


平成30年度

# 高校生建築デザイン コンクール

課題 / 「北海道立十勝エコロジーパーク内の屋外トイレ」



## はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化や生活の質の向上のほか、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上でも重要な役割を果たしています。

道では、道民に愛され親しまれる施設の整備とともに、将来の建築技術者となる若年層の育成を図るため、道内で建築を志す建築系学科に在籍する高校生を対象に、整備等を予定している小規模な施設の設計に先立ち、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しており、今回で23回目となりました。

今年度は、音更町、幕別町、池田町の3町にまたがる北海道立十勝エコロジーパークにおいて整備を予定している「屋外トイレ」について募集したところ、8校173人から111作品の応募がありました。

この屋外トイレは、主に公園内の屋外遊具施設「ふわふわドーム」を利用するお子さんや保護者の方の利用を想定し、乳児や幼児のほか、車いすでの利用にも配慮した手洗い場がある男女別トイレを設計要件としており、創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

外部の審査員を交えた厳正な審査の結果、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

最優秀作品賞については、その設計主旨を実際の設計に反映する予定としており、建築技術者の魅力や喜びを体験いただけるものと思いますが、参加いただいた全ての皆様が公共建築物について考え、そして学んだ経験が、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になることを期待しております。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただいた先生方をはじめ、共催いただいている(公社)日本建築家協会北海道支部、(一社)北海道建築士事務所協会、(一社)北海道建築士会など、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、応募いただいた高校生の皆様には、引き続き建築の勉強に励まれ、将来社会でご活躍されることを心からお祈り申し上げます。

平成30年12月

北海道建設部建築企画監 平向 邦夫

## 平成30年度 高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、道において、設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

- 1 課題 「北海道立十勝エコロジーパーク内の屋外トイレ」  
音更町十勝川温泉に隣接する「北海道立十勝エコロジーパーク」内の「ふわふわドーム」の施設利用者が主に利用する屋外トイレを設計してください。
- 2 応募資格 道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
  - ① 作品タイトル
  - ② 設計主旨
  - ③ 配置図兼平面図 1/50～1/100
  - ④ 断面図 1/50～1/100 (1面)
  - ⑤ 立面図 1/50～1/100 (1面)
  - ⑥ スケッチ又は模型又は透視図
  - ⑦ 面積表
- 4 応募作品 173名から111作品の応募
- 5 入選作品 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作4作品 ・ 特別賞2作品
- 6 経過
 

募集要項配付	平成30年6月1日
作品受付	平成30年8月20日から平成30年8月31日まで
選定委員会	平成30年9月10日
作品展(予定)	平成31年1月15日から平成31年1月16日まで
- 7 選定委員
 

十河昌司	(公益社団法人日本建築家協会北海道支部 教育委員会教育委員長)
重綱博美	(一般社団法人北海道建築士事務所協会 業務・技術委員会担当副会長)
針ヶ谷拓己	(一般社団法人北海道建築士会 常務理事・まちづくり委員長)
山本明敏	(北海道教育庁学校教育局高校教育課長)
大野雄一	(北海道建設部建築局建築整備課長)



## 審査総評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。

今年度は、音更町の十勝川温泉に隣接して整備された北海道立十勝エコロジーパークの利用者のために整備を予定している「屋外トイレ」を設計課題としたところ、111作品という昨年を上回る多くの応募がありました。今年度も多くの関係者のご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛会に進めることができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、十勝地方の特産品などをモチーフとしたデザインや近接する遊具施設「ふわふわドーム」を連想させるデザインを用いながら、老若男女への使いやすさも配慮された魅力ある高校生らしい創造性あふれる作品が数多く見られました。

応募のあった作品については、「高校生らしい若々しさや創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「実施設計に反映させ得るデザインであるか」といった観点から厳正に審査を行い、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性にあふれたデザイン提案が数多くありました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

平成30年度高校生建築デザインコンクール選定委員会  
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 大野 雄一

## 平成30年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

### 最優秀作品賞（1作品）

鈴木 達也（北海道苫小牧工業高等学校 1年）  
板垣 謙典（北海道苫小牧工業高等学校 1年）  
松芳 大輔（北海道苫小牧工業高等学校 1年）

### 佳 作（4作品）

中村 浩了（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
野島 佑介（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
高崎 春花（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
近村 萌（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

### 優 秀 作 品 賞（3作品）

笹森亜久里（北海道留萌高等学校 3年）  
鈴木 大夢（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
志渡 智紀（北海道苫小牧工業高等学校 3年）  
田村 陵丞（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

### 特 別 賞（2作品）

坂本 透哉（北海道苫小牧工業高等学校 3年）

紺谷 匡乃（北海道函館工業高等学校 3年）  
中谷 空（北海道函館工業高等学校 2年）

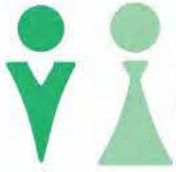
入賞作品

北海道苫小牧工業高等学校

鈴木 達也 (1年)

板垣 謙典 (1年)

松芳 大輔 (1年)



最優秀作品賞

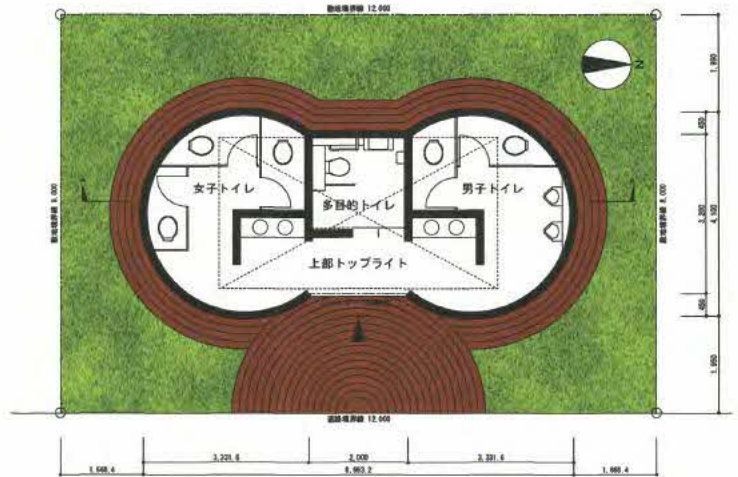


フワフワトイレ

このトイレの一番の特徴は曲面を多用した「かたち」です。近接するドームやシェルターにマッチするよう、雲のような柔らかな印象を与えるデザインとしました。そして小さな子どもたちが利用する施設であることから、乳白色ガラスのトップライトからたくさんの光を取り込むことで室内を明るくし、ひとりでも怖がらずに利用してもらえるようにしました。また、出入口を一つに集約することで、冬はシャッター1つで閉鎖できるよう管理面にも配慮しました。

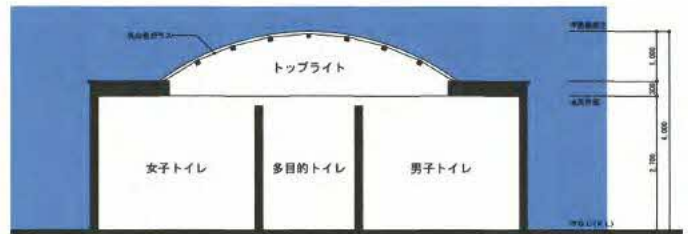


東側立面図 S=1:50



配置図 兼 平面図 S=1:50

延べ面積 : 29.38㎡



A-A'断面図 S=1:50

作品名 「フワフワトイレ」

設計主旨

このトイレの一番の特徴は曲面を多用した「かたち」です。近接するドームやシェルターにマッチするよう、雲のような柔らかな印象を与えるデザインとしました。そして小さな子どもたちが利用する施設であることから、乳白色ガラスのトップライトからたくさんの光を取り込むことで室内を明るくし、ひとりでも怖がらずに利用してもらえるようにしました。また、出入口を一つに集約することで、冬はシャッター1つで閉鎖できるよう管理面にも配慮しました。

審査講評

ふわふわドームと関連したデザインを上手に昇華させており、建築的に完成度が高い作品である。トップライトによる採光を含め、実現性が高く、平面プランがうまくまとめられた提案が高く評価された。



優秀作品賞

北海道留萌高等学校  
笹森 亜久里 (3年)



作品名 「la natural」



設計主旨

今回のトイレを計画する場所が自然の中なので、木と木の間の空間に建築を溶け込ませたいと考え、ルーバーを採用しました。通路側の外壁には外から中が見えにくいように配慮しつつ、室内には木漏れ日のようにやわらかく光を取り入れることができます。また、ルーバーを壁のように延長することで、連続性を持たせ森の中のランドスケープとしてもデザインをしました。トイレは、男子・女子・多目的トイレの三つに分かれており、多目的トイレは、広くすることで車椅子の方でも利用しやすくできるようにしました。施設を利用する人たちにとって、風景の一部として利用できるようなトイレになっています。



審査講評

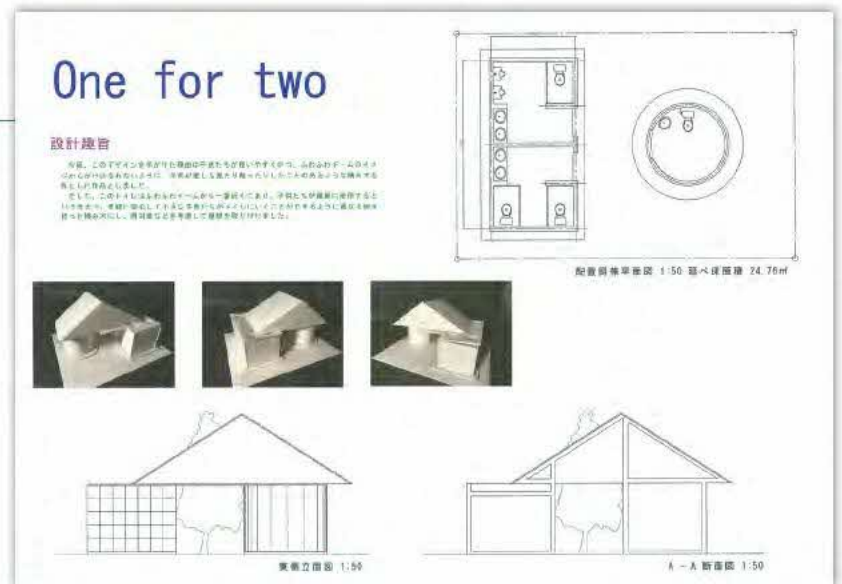
森にマッチした美しいデザインであり、ルーバーを使った外部デザインとすっきりまとまった平面プランが評価された。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

鈴木 大夢 (3年)  
志渡 智紀 (3年)  
田村 陵丞 (3年)



作品名 「One for two」



設計主旨

今回、このデザインを手がけた理由は子供たちが使いやすかつ、ふわふわドームのイメージからかけはなれないように、子供が誰も見たり触ったりしたことのあるような積み木を形とした作品としました。そして、このトイレはふわふわドームから一番近くにあり、子供たちが頻繁に使用するという考えで、気軽に安心して小さな子供たちがトイレに行くことができるように異なる形を持った積み木にし、雨対策などを考慮して屋根を取り付けました。



審査講評

積み木の丸、三角、四角というプライマリーな形をトイレの設計に上手にいかしており、ユニークなデザインが評価された。